

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公表番号】特表2002-513584(P2002-513584A)
 【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)
 【出願番号】特願2000-547251(P2000-547251)
 【国際特許分類】

C 1 2 P 7/62 (2006.01)
 C 1 2 R 1/01 (2006.01)

【F I】

C 1 2 P 7/62
 C 1 2 P 7/62
 C 1 2 R 1:01

【手続補正書】
 【提出日】平成18年1月24日(2006.1.24)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリヒドロキシ酪酸(PHB)生産菌であることが知られている微生物株を、一定の反応容積およびメタノール以外の基質が過剰である場合に成長を抑制する基質にて最大熱生産で連続的に増殖させ、前記最大熱生産が、バイオマス中の最大PHB含量に対応し、基質の流速によって調整されることを特徴とする、PHBの連続微生物生産方法。

【請求項2】 基質として芳香族化合物、好ましくはフェノール、安息香酸およびベンズアルデヒドを用いることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 コマモナス(Comamonas)、ラルストニア(Ralstonia)、またはバリオボラックス(Variovorax)属の微生物株、好ましくはコマモナス・アシドボランス(Comamonas acidovorans)、コマモナス・テストステロニ(Comamonas testosteroni)、ラルストニア・ユートロファ(Ralstonia eutropha)またはバリオボラックス・パラドクス(Variovorax paradoxus)種を用いることを特徴とする、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】 前記連続生産を、25～40 の温度範囲、pH値 6～8で、換気および均一化しながら実施することを特徴とする、請求項1～3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】 バリオボラックス・パラドクスJMP 116を、速度0.07～0.4h⁻¹、流速0.3～1.0 g/l・hのベンゾエートで増殖することを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】 ラルストニア・ユートロファJMP 134を、速度0.05～0.2 h⁻¹、流速0.3～0.6 g/l・hのフェノールで増殖することを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項7】 ラルストニア・ユートロファJMP 134を、速度0.04～0.21 h⁻¹、流速0.25～0.7 g/l・hのベンゾエートで増殖することを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の方法。